

平成24年 3月14日

高速増殖原型炉もんじゅの2次系放射線イオン化式ナトリウム漏えい検出器
(RID) 指示値の欠測による運転上の制限の逸脱について

発生日時	平成24年 3月14日(水) 10時00分
発生場所	高速増殖炉研究開発センター 高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物
状況	<p>高速増殖原型炉もんじゅは、低温停止中(A, Cループドレン、Bループポンプモータ運転中)のところ、9時59分、現場にて保守担当課員が2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のRID指示値がスケールダウンしていることを確認しました。このため、中央制御室の総合漏えい監視盤で確認したところ、2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のRIDの指示値が欠測していることを確認したため、10時00分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言しました。</p> <p>その後、中央制御室の総合漏えい監視盤で確認したところ、2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のRIDのシーケンサが9時44分から停止していることを確認しています。</p> <p>なお、RIDのサンプリングブローは動作していることを確認しており、RIDの指示値が表示されない状態です。</p> <p>また、10時30分、現場を確認し、ナトリウム漏えいがないことを確認しております。また、セルモニタ、火災感知器及びCLDによるナトリウム漏えいの監視は継続して実施しており、ナトリウム漏えいがないことを合わせて確認しています。</p>
環境への影響	本事象による環境への影響はありません。
原因	調査中です。
備考	<p><参考></p> <ul style="list-style-type: none">・RID:放射線イオン化式検出器(ガスサンプリング型ナトリウム漏えい検出器)・CLD:接触型ナトリウム漏えい検出器

※ 下線部について12時10分に追記